

川口クリニック感染防止のための取り組み

- ▶ フェーズ別（段階的）対策
- ▶ 症候サーベイランスの実施
- ▶ ICT（Infection Control Team）の活動

「フェーズ別」感染症対策

流行や発生状況を5段階に分け、段階に応じた対策を計画しています
状況に応じ適切な対応策を迅速に行うことで、更なる蔓延を防ぎます

- ① 県内で発生なし ② 県内で発生中 ③ 県南部で発生中
- ④ クリニック関係者（職員や患者さんのご家族）で発生
- ⑤ クリニック内（職員および患者さん）で発生

症候サーベイランス

- ▶ 発熱や消化器症状（嘔吐・下痢）は感染症の初発症状として認めます
- ▶ これら症状の発生状況を日々報告・集計するシステム（症候サーベイランス）を構築することは、院内感染の早期発見・早期対応のために有用です
- ▶ 患者さんのみならず、職員やその家族も対象として実施しています

ICT (Infection Control Team)

- ▶ 「感染対策本部」が感染症対策に関する決定権を持ち、クリニック内の方向性を決める役割を担っているのに対して、「ICT」は「感染対策本部」の決定事項を実行していきます
- ▶ 内部感染実態調査と評価・現場介入・マニュアル作成などが主業務です

ICT ラウンド

- ▶ ICTラウンドは、感染制御上の問題を把握し、現場の職員とコミュニケーションをとる重要な活動です
- ▶ 定期的に内部を巡回し、必要に応じて部署へ指導・介入を行います
- ▶ 内部環境改善のため現場スタッフを支援しています
- ▶ ラウンドでのチェック項目は、環境・手指衛生・個人用防護服（PPE）に使用方法・医療器材の滅菌などです

感染症から施設を守る取り組み

川口クリニックでは、感染防止のため、ご来館される全ての方々に、「手指消毒」と「体温の検温」をお願いしております。検温の結果、ご入館をご遠慮いただく場合がございます。ご理解ご協力をお願いいたします。



クリニック内では、次の対策を実施しています

- ① 各フロアに手指消毒液を設置しています
- ② 全施設内で、毎日定期的に床や手すり、ドアノブなどの消毒清掃を実施しています
- ① 外来ホールや病棟に加湿器を設置しています



感染症から施設を守る取り組み

① 外来ホール、待合室、エレベータ内など、人が集まりやすい場所では間隔をあけていただくよう、ご協力をお願いしております

待合室では座る間隔をあけていただいています。



② 診察室や受付カウンターに、飛沫防止用のビニールシートを設置し、医療者と患者さんの双方で感染を防ぐ対策を実施しています

診察室



受付カウンター



エレベーター内でも距離をあけていただくよう、ご協力をいただいています。

